

# Nano VNA

## 基本編 SWR測定方法手順

(1200MHz測定の場合)

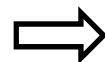
令和2年12月  
JA1UTB／中西道雄

## ① 表示の準備

電源on時に表示される余分な測定線を非表示にします。

DISPLAY
MARKER
STIMULUS
CAL
RECALL
CONFIG

スタート画面をタッチしメニューボックスを表示させる。「DISPLAY」をタッチ。



TRACE
FORMAT
SCALE
CHANNEL
TRANSFORM
CONFIG

「TRACE」画面が表示される。「TRACE」をタッチ。



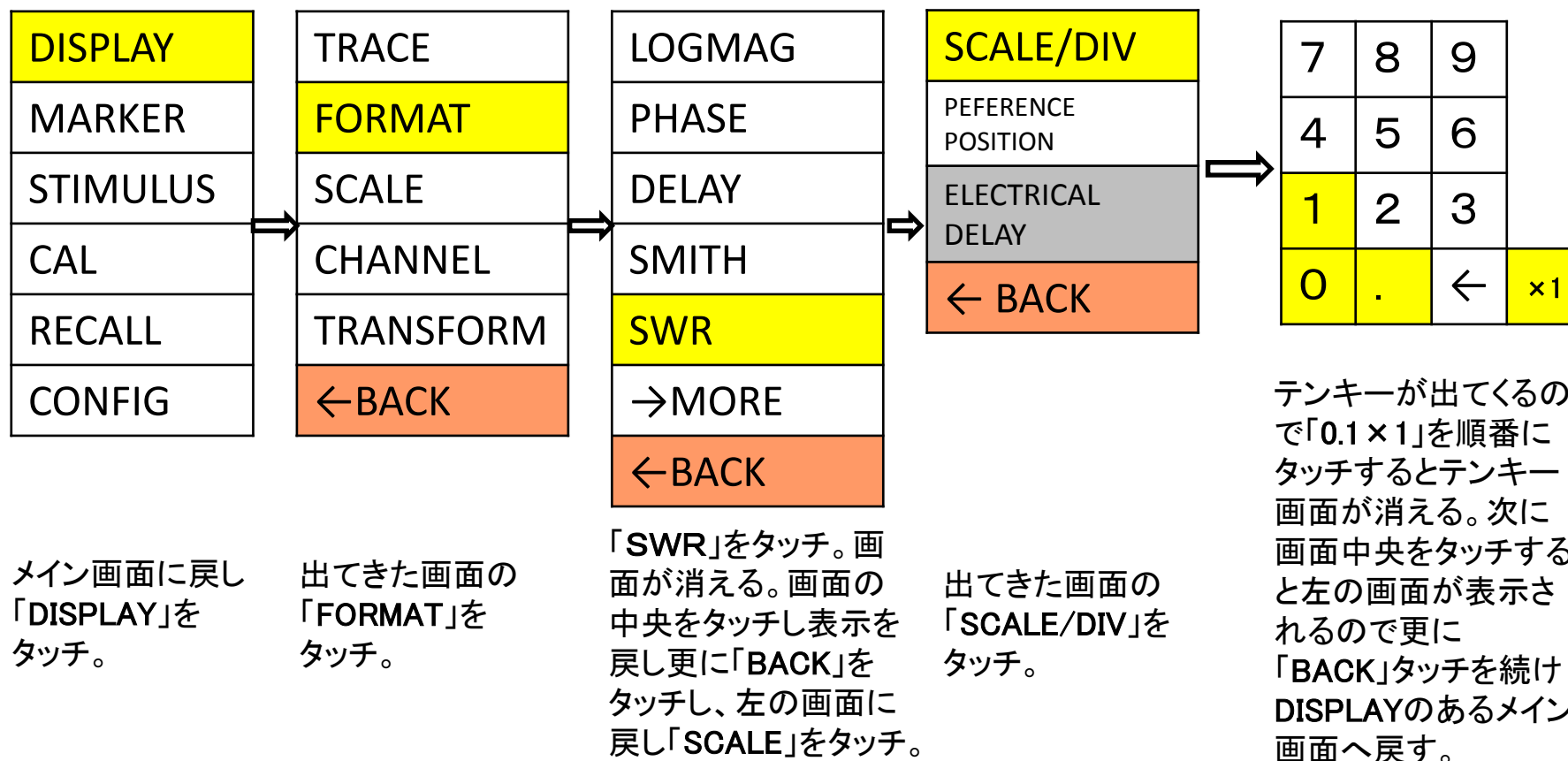
TRACE 0
TRACE 1
TRACE 2
TRACE 3
← BACK

「TRACE 2」、「TRACE 3」をダブルタッチし非表示設定とし、「TRACE 0」と「TRACE 1」を使って測定する。その後、「BACK」をタッチしメイン画面へ戻る。

⇒ これで測定に必要な表示の準備ができます。  
次に測定の準備に移ります。

## ② 測定の準備

測定の対象を設定します。



⇒ これでSWR測定の準備ができます。次に実際の測定の準備に移ります。

③ 測定 (1. 2GHz測定 (1,260MHz~1,300MHz間) の場合)  
 バンド範囲を設定しアンテナ特性を測定します。



⇒ これでSWR測定の準備が終わりました。次に実際にNano VNA本体に測定したいアンテナを接続すればSWRが測定できます。測定の開始・終点を変更すれば、範囲、バンドの変更ができます。

## ④ MARKERの設定方法とNano VNA上での表示例

DISPLAY
<b>MARKER</b>
STIMULUS
CAL
RECALL
CONFIG

スタート画面の「**MARKER**」をクリック。

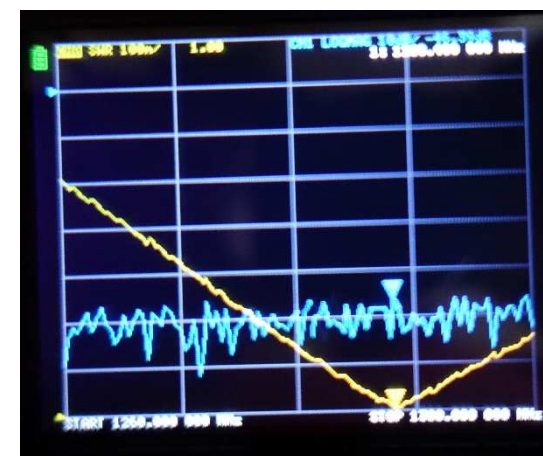
<b>SELECT MARKER</b>
→START
→STOP
→CENTER
→SPAN
←BACK

一番上「**SELECT MARKER**」をクリック。

<b>MARKER 1</b>
MARKER 2
MARKER 3
MARKER 4
ALL OFF
←BACK

「**MARKER 1**」を選択。「**MARKER 1**」の表示が反転する（選択された表示）次に「**BACK**」をクリックし元の表示に戻す。

画面の下の欄に周波数範囲の表示、上段に**TRACE 0**と**TRACE 1**の測定データがグラフ表示と伴にデジタルで**MARKER 1**の地点の測定値が表示される。



SELECT MARKER
→START
→STOP
→CENTER
<b>→SPAN</b>
←BACK

「**SPAN**」をクリックすると画面上に▽は表示され画面上で▽をドラッグできるようになる。写真のように表示される。